生勝3号トンネルが起工

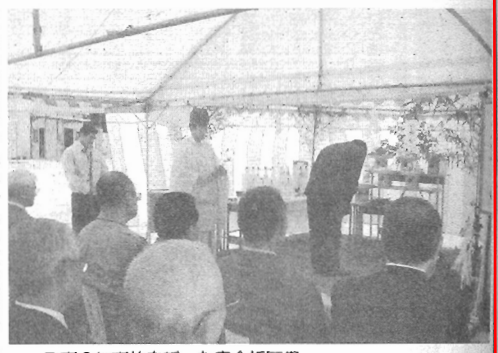
無事故祈り安全祈願祭

延長272メートル、幅員8.5メートル

大島郡宇検村の主要地方道・名瀬瀬戸内線の「生勝3号トンネル工事」安全祈願祭が20日、芦検側坑口で行われ、工事関係者や県、宇検村、村議会など約100人が出席して、工事の無事故での完成を誓った。

祈願祭では竹山建設㈱の竹山真一郎代表取締役、㈱福永建設の福永秀文代表取締役らが玉串を捧げ、工事の安全を祈願した。

同トンネルは延長272メートル、幅員8・5メートル（車道6m）で、事業費は約7億円。すでに工事は進められているが、祈願祭を終えたことで、いよいよ本格着工となる。来年2月にも貫通し、2002年度末の完成予定。施工は竹山建設㈱・㈱福永建設JV。



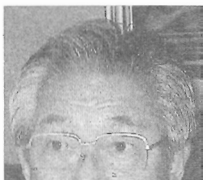
工事の無事故を誓った安全祈願祭
＝宇検村芦検側の生勝3号トンネル坑口で

県大島支庁瀬戸内事務所では同トンネルの完成後、2号トンネル（519m）、1号トンネル（678m）建設を計画しており、用地買収などを経て2007年度末の全面開通を目指す。

かお…人

全国中小建設業協会副会長に就任した 青木 誠光さん

地方業者の代弁者に



「地方の真面目に取り組む業者が生きていける建設業界でありたい。そのためにも地方業者の代弁者として全中建の果たす役割は重く、また期待されている」。

全中建との係わりは長い。昭和36年7月、29歳の若さで高知県建設業連盟の理事、54年からは筆頭副会長として、合併までの間会長代行を務めてきた。

昭和62年11月に高知県建設業協会との大同合併では、連盟側の合併特別委員長としての役割を果たし、合併と同時に連盟を代表する形で協会副会長となり、一方全中建の理事として、地方業者の声を届け続けてきた。

だが、地方業者の経営環境はますます厳しくなっている。国、地方公共団体の財政赤字から公共工事の大幅削減、それに伴ってコスト縮減で利益率が下がっているうえに、発注機関からはいろいろな資格取得や技術面での要求が強まり、一段と経営を圧迫している。このままいくと自然淘汰される業者も出てくるだろう。

「生き残りの具体策は、個々の意識の問題もあり、妙案は簡単に見つからない。ただ、組織としては、会員に意識改革の必要性を指導しなければならない。発注機関には経営と技術に優れた企業が高い評価をうけられるよう、制度改革を求めていきたい」。

来年6月の総会は高知県で開かれることとなった。「引き受けたからには、井上会長はじめ、皆様の協力をいただいて、全国の全中建会員に喜んでいただけるような準備をしたいと思っている」。

略歴

昭和26年総合建設業笹岡組に入社、34年有限会社に改組と同時に専務取締役、46年青木建設に改称。高知県建設業協会副会長、高知県地区建設業協会連絡協議会会長、高陵地区建設協会会長、平成13年6月全国中小建設業協会副会長。昭和7年3月生まれ。高知県須崎市出身。

マックス ITソリューションセミナー

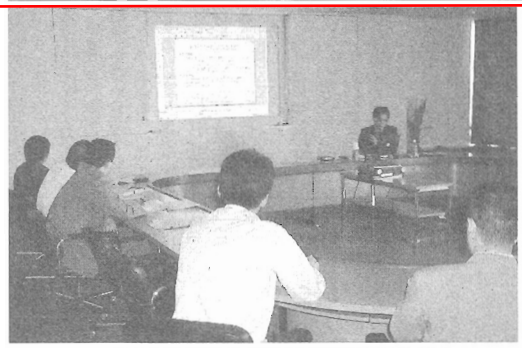
CALSの活用が「カギ」

最新ソフトや機器展示も

ソフトマックス㈱（中園政秀社長）は25日、鹿児島市の鹿児島市民文化ホールで、「ITソリューションセミナー」を開き、建設業に関わる経営セミナーや最新ソフトや機器の展示、実演などが行われ、建設業界から多数の参加者が訪れた。

午前と午後に分かれて行われたセミナーでは、㈱ビーイングの田原生法氏による「建設CALS／EC到来に向けて」、東芝テック㈱の高野敏正国内営業部統括部長付によるISOにおける「電子文書活用による業務効率化」など、情報化が変える建設業界の今後の有り方について講演が行われた。特に建設CALS時代突入について田原氏は「パソコンとネットワークをいかに有効活用していくかが今後の生き残りを左右する」と参加者に訴えた。

また別室で行われた展示会では、紙情報を電子デジタル情報に簡単に変換することによってオフィス文書資産を効率活用できる機器や最新の建設業向けの原価管理システムなど建設業管理システムの展示、実演も同時に行われ、参加者は関心を示し説明に聴き入っていた。



建設CALSの今後の在り方講演を真剣に聴く参加者ら
＝鹿児島市の鹿児島市民文化ホールで

種子島建設組合青年部 奉仕作業

海岸流木を拾い集める

西之表市、中種子町等で 地域住民に喜ばれる

種子島建設組合青年部（部長・山下義秋㈱山下建設社長）はこのほど、今月2日の集中豪雨被害で海岸に流木や立木などが流され、山積していることなどから、西之表市と熊毛郡中種子町、南種子町の2カ所に分かれボランティア活動を実施し、地域住民らに喜ばれた。

今回の奉仕作業は、今月2日の集中豪雨で島内のあらゆる個所が被害に見舞われ、海岸には流木や立木が山積していることや地元住民からの要望などを受け、青年部で実施したもの。

この日は、朝早くから西之表市の組合事務所と中種子町、南種子町の2カ所に青年部員22人が集まり、作業上の注意事項や留意点などの説明を受けた後、それぞれの作業個所に向かった。

このうち、西之表市では能野地区と深川地区及び太平洋側に面した伊関地区の3カ所の海岸に流木などが山積して海岸機能を果たしていないことから、パワーショベルやタイヤショベル、ダンプトラックなど10台以上を使って手際よくごみや大木などを片付けた。

作業を終えた会員は「島内全域が目を覆いたくなるような被害が発生していることから、少しでも奉仕できぃ、うれしい」と話していた。

建設機械で手際良く作業する会員＝西之表市の海岸で

建築士会のPRを担った加世田建新会踊り連
＝加世田市のゆめぴか通りで

加世田建新会 かせだまつりに参加

新着ハッピでアピール

威勢の良い軽やかな踊り披露

加世田建新会（新田信夫会長）は23日、加世田市恒例の第20回かせだまつりに参加して威勢の良い見事な踊り連の披露と建築・土会のPRを沿道にアピールして盛んな拍手を受けた。

かせだまつりの開会式では、川野信男加世田市長が「不景気とテロ事件など暗いニュースが多いですが、今日の祭りで暗雲を吹き飛ばし、楽しく愉快に踊りに参加して下さい」と挨拶した後、28団体、総勢1000人のハンパ踊りが始まった。

このうち、加世田建新会の踊り連は、同会副会長の中金秀一さん（中金電気㈱）が踊り連の先導役でプラカードを掲げ、永留真奈美さん（㈱田代設計工房）らを先頭に新着した揃いのハッピで各社の美男美女、子供ら40人がおはら節、加世田音頭を軽やかに披露した。

また、踊り連には、九電工加世田、九州電気保安協会加世田、鹿児島金属のほか、建設業各社も校区踊り連となって祭りを盛り上げた。

同日は同市ゆめぴか通りが歩行者天国となり、地元ゆかりの小泉総理に扮（ふん）した人物や世界遺産、自転車競技加世田大会の成功に向けたユニークなプラカードなどのほか、砂の祭典の写真展、地元特産品の販売など多彩なイベントが行われ、活気あふれる秋の1日だった。

ゴルフ会員権と株券・即現金買取り
相場80％ 融資OK!!
商業手形割引
資金業登録県知第（5）00077号
（社）鹿児島県貸金業会員85号
きりハウス㈱
鹿児島 市下荒田4-8-16 ☎(099)252-5238